

児童発達支援センターつばみ

		チェック項目	取組状況・改善目標	はい	いいえ	どちらともいえない
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動の内容より部屋を移動している。 マンツーマンが必要な方にはパート職員を付けれるように必要に応じる事が出来る人数である。 ちょうどよい広さだと思う。 パーティションを活用したり、部屋を広く使ったり区切って場所を分けたりなどの工夫があると良いと思う。 人数の多い時は調整していると思う。	14	0	0
	2	職員の配置数は適切であるか	子どもの特質や年齢によって職員の配置数を替えている。 職員同士で話し合って適切になるように移動している。 子どもの実態や人数に応じて職員配置を行っている。 配置基準は満たしているが、時により1人の職員に対しての児童が多いこともある(見守り時) 看護職員、作業療法士等のマンパワーの確保が必要。 活動内容より児童入数が適切ではない時がある。 休みが重なりと少ない時はあるが配置やクラス分け等で調整していると思う。	13	1	0
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	子ども達には必要最低限の掲示物等の情報があくさん入ってパニックにならないようにしている。 1階、2階の移動が大変。 部屋は子ども達も移動しやすく活動しやすい。 遊びの部屋、食事、生活の場のスペースを使い分ける事で活動の区切りをつけやすくしている。 手順や収納場所の表示にイラストや写真等、わかりやすく視覚的提示を取り入れると良いと思う。(現在一部破れていたりわかりにくかったりする) 2階で主な活動スペースとなっているので、リスクがある。 ドアの所に子どもがわかりやすいよう絵を使っているのは良い。 2階への移動手段が階段しかない為、車椅子利用児や足を怪我している時等の移動が難しい。工夫して対応しているが、常時足が不自由な子が入ったら対応が難しいと思う。	13	1	0
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	保育室については、毎日掃除と消毒を行っているが、窓や網戸等時間を要する所については、汚れやほこりが気になります。 毎日掃除をしていて清潔にしている。 子ども達の活動に合わせた広さや場所を使い、子ども達に合わせている。 子ども達走り回れるように公園に行っている。 危ない所を改善した方がよいと思ったらずぐにやっている。 毎日の清掃により清潔な環境が整えられている。 感染症対策を含め、毎日利用する度に手洗い、消毒を行っている。 ランチルーム、手洗い場、窓の下部清潔であると良いと思う。 1階にもっと活動スペースがあると良い。 生活空間は清潔ではあるが、活動に合わせた視覚支援がなく心地よく過ごせない。 危険がないよういつも整理整頓を心掛けている。 活動に合わせて使う部屋を調整していると思う。	12	2	0
業	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	行事の振り返りや日々の朝礼等で情報の共有は行っている。 会議で話し合っている。 担当中心に目標に対して話し合いを行っている。 全体で振り返りを通して行けん交換し確認を行いながら取り組めると良い(現在会議の時のみなので、日々の振り返りができると良い) パートさんへの周知が課題である。朝礼等で周知の徹底が必要。 目標設定はしても結果の振り返りをしないので、広く職員に参画していない。	11	3	0
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年行っている。 アンケートや直接話す事で保護者の意見を聞いている。 年度末に保護者向けの評価を配布し実施している。 評価表を実施し、行事でもアンケート等を実施し意向を聞き反映している。 保護者アンケートを実施し閲覧している。 実施した評価をもとに職員全体で改善点等の討議があると業務改善に取り組めると思う。 アンケートの確実な実施と評価を行う。 行事ごとのアンケートでも意見を取り入れている為、保護者の意見を反映できていると思う。	14	0	0

務 改 善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価は張り出している。 自己評価表及び保護者向け評価表を回覧している。 課題や改善すべき点があれば討議できると良い。	14	0	0
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	監査等で指導してもらっている。 年1回監査がある。 実施についてわからない。	7	7	0
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職員会議の時はパート職員も研修を受ける機会があるのでありがたいです。 毎月研修会を行っている。 研修に参加している。職員研修も全員でしている。 職員会議の際に研修を行い、周知を行っている。 毎月職員研修を行い、外部の講師の方にも来ていただいている。 パートを除き担当クラス職員は研修に行っている。パートも機会があるとい いと思う。 コロナ禍で研修参加が十分でない部分もあった。 毎月研修は行っていて改めて気づく事もあり良いと思う。	14	0	0
適 切 な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	会議で保護者のニーズを受けて計画を作成し、その後保護者に確認してもらっている。 保護者と会議で話し、子どもに無理のないような支援計画を作成している。 療育センターの体験をもとにアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。 利用開始後も6か月毎に面談を行い評価し、ニーズに即した見直しを行っている。	14	0	0
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールは一人一人に作られていて情報の確認が必要な時も見られるようになっていいる。 療育センターでの体験後のアセスメントや個別面談での聞き取り事項確認事項を統一している。	14	0	0
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	具体的に支援内容を設定されていると思う。 必要に応じて個別支援検討会議で全体共有し、子どもの状況把握に努めなければと感じる点がある。情報共有があると良い。 具体的な支援方法を設定しているが、現状されていない場合もあり残念な点もある。 個別の課題をクラス担任で検討し、全体共有して支援ができると良い。パート職員は回覧のみなので、意見交換の場があると良い。(会議の時のみでは時間に限りある)	12	2	0
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	目標を確認して支援や療育をしているが一人ひとりにより細かく支援出来るように意識していきたい。 職員間で周知し共通した支援に心掛けてい。 支援計画を基に日々の支援を行っている。 担当より詳しい支援計画の説明がないのでわからない。	13	1	0
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	担当職員が他の職員からアドバイス等をもらい決めています。 担当保育士、児発管で行っている。内容の手指はパートが入っていないので分からず、マンネリなこともあるので、振り返りがあると良い。 利用児の帰宅後15:50～16:15頃まで実施 担当保育士、児発管はプログラムを立案している。 よく相談して進められていると思う。	12	2	0
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	リトミック・ミュージックセラピー、体操教室等の各グループ毎に月1度ずつ行えることはとても良いと思います。 子どもたちの様子見て、マンネリにならないようもっと工夫していきたい。 活動内容が偏らないように計画を立ててやるよう心掛けている。 児発管が入ったの活動内容は、工夫されているが、マンネリ傾向なので新たな視点があると良い。 利用児の帰宅後15:50～16:15頃まで実施。	11	3	0
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	子どもの特質やその日の出席人数によって活動を工夫していると思う。 臨機応変にできている。 ST、OTが来訪するので、継続的に活動や必要なプログラムで行えて良い。 発達特性や状況に応じて判断している行っているで勉強になっている。 個別活動を増やしたくても増やせない日も多い為、工夫していきたい。	13	1	0

支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝の朝礼などで伝えられることと、その朝に担当職員と一緒に話をするようにしている。 朝礼の時等簡単な打ち合わせをしている。パートさんにもどんな事をするのかはなるべく伝えるようにしている。 前日と当日に打合せをしている。 前日に次の日の活動山本職員配置を確認し、職員間でも共有を行っている。毎朝の朝礼で再度確認する。 始業時間の違う職員も朝礼でしっかり伝達、確認がある。 当日活動内容や支援方法等、簡素であるが説明はある。どういった点に活動に要点を置いているのか支援の内容が細かいとなお良い。 8時30分からの朝礼で打ち合わせにて実施。 療育内容の確認はするが役割分担の指導は基本ない。 活動の前に職員間で話し確認している。	13	1	0
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	その日気になった子どもの様子や出来事を担当職員に伝えるように心がけている。 秀麗時間等でその日の子どもの様子を共有している。 その日にあった事など共有している。 その日の子どもの様子等気づいた点などがあれば職員間で話をし、共有している。 終了後5分程で良いので振り返りがあると次に改善点等に気づきがあり、その都度共有できて良いと思う。 終礼(17:00～)の実施。 活動の振り返りがないので、気付いた点等の共有ができない。 朝礼や会議などで子どもの気づいた点など確認している。	12	2	0
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日ケース記録をつけて、様子等をかき込んでいる。 毎日記録している 細かい支援内容の反省等担当保育士は行っている。 子どもの様子によって活動内容や支援方法に変化を加える等の工夫があると良い。 記録はその都度記入し、月末にまとめて整理して管理者に報告している。	14	0	0
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	モニタリングの記録を回覧する事で知る事が出来ている。 定期的にモニタリング会議を行い、保護者や他の施設の方の意見も聞き、子どもの変化・成長に合わせて計画の見直しを行っている。 定期的に行い見直しをしている。 半年に1回モニタリング会議を行い、支援計画の見直しをしている。 必要に応じて滴宣面談を行いモニタリングを行っている。 モニタリングを滴宣実施している。 定期的に行ったり、相談があれば対応している。	14	0	0
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談員、児発管、余裕があれば担当が出るようになっている。 相談員と児発管がしている。 同センター内に相談支援事業を利用している支援体制を活かし相談員と担当職員とで直接、情報交換や協議を行っている。 基本、児発管又は担当者が出席(但し感染症になった場合は出席しない)	14	0	0
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	定期的な会議や普段の連絡等で情報の交換を行っている。 連携し、情報の共有している。 市などともこまめに連絡を取り合っている。 個々の必要に応じて子ども家庭センターをはじめとし、保健師や関係する機関との連携を図っている。	14	0	0
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	本年度は医療ケアの必要な子どもの受け入れてなく、次年度のテーマとなっている。	0	14	0
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	本年度は医療ケアの必要な子どもの受け入れてなく、次年度のテーマとなっている。	0	14	0
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	モニタリング会議で情報の共有・連携を行っている。 情報共有し共通の支援をするようにしている。 筆王に応じて連絡を取り合い情報交換を行っている。 定期的に保育所等～モニタリング等で行き、情報共有を図っている。 モニタリング会議や必要に応じて	14	0	0

関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	モニタリング会議や学校見学等で情報共有している。特に今度就学する児童についてはしっかり行っている。 見学をしている。 互いの見学や情報交換を行っている。 主に相談員が学校を訪問し情報共有などに努めている。	14	0	0
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	会議や研修等で情報の確認している。 アドバイス等している。 研修実施はコロナ禍が落ち着いたことで行けるようになり、保育所等訪問支援の依頼が復活した。 行政に依頼し、出前講座への派遣要請。市主催の研修会やネットワーク「人とき」の研修会や委員会に出席している。 連携はできていると思うがもっと意見交換や一緒に研修を受ける機会があっても良いと思う。	12	2	0
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	毎日利用の子どもについては、ほぼ交流する機会はないです。 併用利用児は交流があるが毎日利用児はコロナなどもあり難しい。 毎日利用の子は他の園との交流はない。 機会がないのであると良い。 以前は交流があったそうだが、現在は全くない。	3	11	0
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	毎月各部会に担当者が出席している。 毎月参加している。 参加している。 担当を決め、参加している。 子ども支援部会参加していると思う	12	2	0
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	子どもの送迎時や連絡帳で必要なことや気づいたことは伝えるようにしている。 連絡帳や送迎の時などに話している。 連絡ノートや送迎時に保護者の方と丁寧に情報共有するように心がけ共通理解を持っている。 連絡帳や送迎時、電話などでコミュニケーションをとっている。 相談支援員に直接連絡で保護者の要望や困り等寄せられている。 保護者と送迎時に担任が共通理解を持ち対応している。 保護者が朝、帰りのお迎えに来た際に伝える。また、連絡ノートに活用にて伝えている。 子どもの様子は日頃から伝え合っていて、悩みなどはその都度対応していると思う。 毎日連絡帳でやり取りしている。	14	0	0
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	毎年行っているが、参加する保護者が少ないと感じます。保護者への声かけをもう少し多くすると良いのではないのでしょうか。 年に2回ペアレント・トレーニングを行っている。 ペアレントをしている。 ペアレントプログラムを行っている。 児童発達支援センターとして、ペアレント・プログラムで保護者支援の事業を行っている。コンシェルジュ家庭支援事業として充実を図り支援を行っている。 ペアレントプログラムの実施。但し最近はお母さん方が仕事をする方が多く、参加人数が限られている。 保護者の方も子どもの関り方を学べて良いと思う。 ペアレントプログラムを行っている。	14	0	0
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明するようにしている。 利用開始時に詳細説明を行う他、質問も受け付けている。	14	0	0
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	児童発達支援管理責任者からの説明の他、見直しの時には相談員からも支援内容の詳細を説明し同意を得ている。	14	0	0
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者からの悩み相談について送迎時に聞く事もあり、何かあった場合はしっかり答えられるようにその場ではなく改めて場を設ける事もある。 相談があればすぐに対応している。 保護者からの悩みに関しての相談があった時には、気持ちに寄り添い支援ができるように心がけている。 保護者からの相談は随時受け付けており、その場でアドバイスしたり、改めて面談を行ったり状況によって対応している。 保護者送迎時に子育ての悩みや相談に応じ必要な時には相談室にて対応を行う。 子どもの悩みや相談があったら、話を聞いて支援している。	14	0	0

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会のような会がないので、保護者同士の連携は少ないと感じます。ペアプロ等で保護者が関われる場所を作っている。以前は保護者会もあったが、コロナの影響で止まっている。 参観日に保護者の交流をしている。ペアレントでも交流できている。 今も行っているが、コロナ禍により機会が少なくなっているため、もっとゆとり交流できたら良いのではと思う。 通園日(親子)保護者同士の話し合い等をしている。 父母会はないが(活動)定期的な保護者通園日を実施している。 保育参観時や行事の時に交流できるよう計画している。	12	2	0
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	常に相談しやすい雰囲気作りをしている。 連絡帳や個別に相談を設けている。 相談員や市とも連携し、迅速に対応している。 コンシェルジュを配置し、様々な相談を受け付けて適切な支援を検討し、関係機関に繋げている。 相談があった時は話し合う場を作って対応している。 相談の申し入れがあった時は可能な限り即座に場を設けて対応している。	14	0	0
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	園だよりを発行している。 毎月おたよりを発行している。 毎月園だよりを発行し、療育の様子や行事など発信している。 毎月つぼみ便りを発行している。 「つぼみ」たよりや保険たよりの発行。 毎月おたよりを配ったり、行事がある時は早めに保護者に伝えている。 お便りを定期液に出している。	14	0	0
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報とは外部に持ち出されないように気を付けている。 個人情報を扱う際は十分気を付けている。 個人情報に日頃から配慮している。 書類等は書庫にて保管。一方必要な書類の開示を行うという課題もある。	14	0	0
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	言葉だけではなく身振りや絵カード等を利用している。 絵カード、写真、ポスターなどで伝えている。 子どもに関して、1日の予定表や簡単なやり取りの際、絵・給食実物等の視覚的な手掛かりを用いる等障がい特G42:L43性に合わせ伝わりやすい方法が工夫、また取り入れられると良い。 相談室を1階、2階に設けている。 子ども達と意思の疎通ができる視覚支援カード等は活用されていない。	13	1	0
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	運動会等を通じての交流等を計画できたらずぼみに通う子ども達の事を理解されるのではないかと思います。 今はしていない(コロナ等が流行してから) 関係機関からの見学等、受け入れている。イベント時児童が制作した物等を配布している。 コロナ禍ということもあるが、十分とは言えない。 近所の方に記念品を届けたり、配慮していると思う。 まだ感染症の流行も止まっていない為、難しい課題だと思う。	8	6	0
非常時等	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	毎月避難訓練等で訓練をしている。 月に1回実施。AED研修等、発生時に備えた対応を身に付けている。 マニュアルはあるが、発生を想定した訓練の徹底が課題。 定期的に行っていて、職員全体で確認している。	14	0	0
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月避難訓練等を行っている。 毎月している。 避難リュックを用意してもらったり、月1回避難訓練を行っている。 防災訓練年1回実施、救出その他必要な訓練を所内で行っている。 避難訓練の実施。 地震、津波の場合等、定期的に行っている。 毎月行っている。	14	0	0
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	子どもの様子の変化を職員同士で伝え合っている。 服薬に対して処方箋をコピーを取り把握している。また分からない点等があれば保護者や病院に確認している。 処方箋のコピーを取り、個人ファイルに入れ、いつでも確認できるようにしている。子どもの様子等も保護者から情報を聞くようにしている。 利用開始前に小児科診察を書面にて提出している。 職員の間で注意する点を共有している。	14	0	0
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	指示等がある場合、しっかりと確認をしている。 アレルギーのある子は検査結果を出してもらっている。 医師の指示に基づく対応の統一を徹底している。 職員の間で注意する点を共有している。	14	0	0

の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	会議でヒヤリハットの事例を検証している。 会議で話共有をしている。 作成を行い、共有を行っている。 回覧し、会議でも話し合い情報を共有している。 会議でヒヤリハットの検討し、職員間で共有し意見交換を行っている。 共有している。回覧と職員会議での検討会を実施。 ケガ等があってもヒヤリ事例を作成しても共有できていない事がある。 職員会議でどうしたら良かったか対応を考えている。 会議で周知し、処方箋を回覧している。	14	0	0
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会を開催したり、研修を行っている。虐待防止委員会を年4回研修している。 虐待に関する研修により、知識や対応を学び日頃からきを付けている。 虐待防止委員会を令和4年度設置。研修を行い虐待防止に取り組む。 マニュアル作成と委員会及び研修会の実施。 虐待にならないよう研修を行って対応を検討している。	13	1	0
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	保護者に説明をし許可を取っている。 保護者に同意を得ている。 保護者に事前に確認してもらい、計画に記載している。 会議で研修を行い、十分に近しい上で身体拘束を行うにあたっての学びを深めている。 対象児は現在いないが、マニュアルの作成、滴宣委員会の開催は実施しているが、実施訓練の実施が課題となる。	14	0	0